



学年末テストについて

学年末テストの大切さとは

中学校・高校では「学年末テスト」、小学校では「総まとめテスト」「総復習テスト」などと呼ばれるテストが実施されます。
1年間の締めくくりとして、良い成績を収められるように、学年末に行われるテストにはしっかり取り組みましょう。また、このようなテストには「**新年度の土台作り**」という役割もあります。新学年になると、これまでに学習してきたことは全員が理解しているという前提で授業が進みます。そのため、分からないことを残したまま進級・進学すると、スタートダッシュが大切な新学年に、学習面でつまづいてしまう可能性があります。そうならないように、今年度学習した内容はしっかり整理してから新学年を迎えたいものです。1年間の学習の総まとめを行うつもりで、学年末テストに向けて復習しましょう。



実技教科も含めた全教科の対策が必要に

中学校・高校の学年末テストでは、体育や美術などの実技教科のテストも行われる学校が多くあります。実技教科は知識だけでなく技能問題も出るため、授業で扱ったポイントを復習しておきましょう。

また、全教科の対策には時間がかかるため、例えば「**平日は1教科、週末にまとめて復習する**」など、早めに計画を立てておきましょう。

テスト対策にありがちな失敗の防ぎ方

学年末テストを含め、定期テスト対策では以下のような理由から点数があまり伸びないことがあります。

- ・目標点数が明確になっていない
- ・出題範囲や範囲をやりきる為に必要な時間が分からず、勉強が終わらない
- ・塾での授業回数が足りない
- ・必要な暗記ができていない



そこで、以下のようなことを意識して定期テスト対策を実施してみてください。

- ・教科ごとに目標点数を決める
- ・出題範囲が発表されたら、塾の先生にも伝え、対策の計画を相談する
- 「いつ」までに「なにを」「どのくらい」行うのか決める
- ・出題範囲については、教科書、学校ワーク、プリントなど、具体的に何が、どこからどこまで指定されているかを確認する
- ・学校ワークは、内容を暗記できるまで繰り返し取り組み、定期テスト1週間前までには終わらせる
- ・暗記は「インプット(覚える)→アウトプット(書き出したり声に出して読んでみたりする)」を繰り返す

定期テスト対策は、具体的な目標点数と計画の設定→実行→調整→再実行→本番→結果返却→振り返りというように、目標点数・計画の設定から振り返りまでが

1つの流れになっています。「いつ」「どこで」「なにを」「どのくらい」行うのかを考えることで、計画が立てやすくなります。

↓過去の情熱通信はこちらから！

